

評価結果の公表

施策名 地域資源を生かした健康づくりの推進

1 第6次大府市総合計画における位置づけ、担当課

健康領域	ひとの健康
政策	こころもからだも元気に過ごせるまち
施策	地域資源を生かした健康づくりの推進
主管部局	健康文化部
主管課	健康増進課
関係課	健康都市推進課、健康増進課

2 施策が目指す大府市の姿

内容	健康都市として蓄積してきた専門的な知識や施設、市民の健康に対する高い意識などの資源を生かしながら、全ての市民が主体的に健康づくりに取り組むことができる環境を整えることで、健康寿命を延ばし、QOL（生活の質）を向上させるまちになっています。
----	---

3 令和2年度 施策フルコスト（単位：千円）

歳出（使ったお金）	R 2決算	R 3予算
(1)人件費	102,506	0
(2)事業費	779,083	797,327
フルコスト（歳出合計）	900,551	797,327
歳入（お金の出所）	R 2決算	R 3予算
(1)国庫支出金（国から出たお金）	32,195	10,886
(2)県支出金（愛知県から出たお金）	71,591	49,490
(3)市債（市の借金）	0	0
(4)その他特定財源（使い途が決まっているお金）	126,017	129,361
(5)一般財源（市税収入など）	549,280	607,590
歳入合計	779,083	797,327

4 「ひとの健康」指標（施策評価指標）

有効性指標 1

指標名	健康寿命（現状値：男性 79.64年、女性 83.52年、平均 81.58年）										単位	年	
											現状値	81.6	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
実績値	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究班」が示す「健康寿命の算定方法の指針」により算出した平均寿命と健康寿命について、当該年度と現状値の差（伸び）を実績とする。算定式は「（当該年度の健康寿命-現状値の健康寿命（81.58年））-（当該年度の平均寿命-現状値の平均寿命（84.21年））」とし、男女の平均値を入力する。												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	令和2年度（平成29年分）男性：平均寿命81.38歳、健康寿命79.86歳、差1.52歳、女性：平均寿命87.68歳、健康寿命84.20歳、差3.48歳、平均寿命および健康寿命は、男女ともに延伸しました。健康寿命の増加分が平均寿命の増加分を上回りました。健康寿命延伸のため、身体活動だけでなく、生涯学習、文化、スポーツ、ボランティア、食生活など、様々な健康づくりに取り組んでいることが要因と見込まれます。												

有効性指標 2

指標名	新規要介護認定者の平均年齢										単位	歳	
											現状値	79.1	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	79.2	79.2	79.3	79.3	79.4	79.5	79.6	79.7	79.8	79.9	80.0		
実績値	79.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	新規要介護認定を受けた人の平均年齢（知多北部広域連合から提供される数値）												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	令和2年度 新規要介護認定者の平均年齢 79.2歳 0.1歳上昇しました。平均年齢の低下を抑制する必要があります。												

評価結果の公表

施策名 地域資源を生かした健康づくりの推進

有効性指標 3

指標名	「日頃から健康づくりに取り組んでいる」市民の割合										単位	%
											現状値	66.7
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	67.0	67.0	69.0	69.0	71.0	71.0	73.0	73.0	75.0	75.0	75.0	
実績値	66.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	市民意識調査で「日頃から健康づくりに取り組むこと」に「積極的に」又は「ある程度」取り組んでいると答えた市民の割合											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	令和2年度 市民意識調査で「積極的に取り組んでいる」14.4%、「ある程度は取り組んでいる」51.6% 前年度より0.6ポイント低下しました。取り組んでいる人の増加を図る必要があります。											

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
健康づくり推進事業	健康増進課	19,379 (19,379)	指標名	日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合	妥当性	B
			単年度計画値	56.0	有効性	B
			単年度実績値	54.4		
			単年度達成率	97.1%		
			最終目標に対する達成率	83.7%	効率性	B
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 感染症対策や新しい生活様式を取り入れた事業の実施を行う必要があります。 引き続き健康づくり活動に取り組む人を増やすことは必要ですが、事業の当初の目的を達成したものについては、事業の見直しや廃止の検討が必要です。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
母子健康診査事業	健康増進課	151,665 (151,665)	指標名	3歳児健診受診率	妥当性	A
			単年度計画値	100.0	有効性	A
			単年度実績値	93.6		
			単年度達成率	93.6%		
			最終目標に対する達成率	93.6%	効率性	A
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 引き続き必要な時期に健診を実施し、保護者の育児不安や育児負担の軽減、親子への支援を実施していきます。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
成人健康診査事業	健康増進課	174,195 (174,195)	指標名	特定健康診査受診率	妥当性	A
			単年度計画値	57.0	有効性	A
			単年度実績値	41.4		
			単年度達成率	72.6%		
			最終目標に対する達成率	69.0%	効率性	A
事務事業の方向性						
A：拡大 新型コロナウイルスの感染の影響により、受診者数がやや減少はしていますが、今後も特定健康診査及びがん検診等について市が実施していく必要があります。						

評価結果の公表

施策名 地域資源を生かした健康づくりの推進

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
成人保健指導事業	健康増進課	5,991 (5,991)	指標名	ゲートキーパー養成研修延べ受講者数	妥当性	A
			単年度計画値	230.0	有効性	A
			単年度実績値	216.0		
			単年度達成率	93.9%	効率性	B
			最終目標に対する達成率	30.9%		
事務事業の方向性 B：現状のまま継続 まずは市職員のゲートキーパー養成を徹底し、その後市民や各団体に養成対象を広げていきます。						
特定健康診査等事業	保険医療課	57,129 (57,129)	指標名	特定健康診査受診率	妥当性	A
			単年度計画値	57.0	有効性	A
			単年度実績値	41.4		
			単年度達成率	72.6%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	69.0%		
事務事業の方向性 B：現状のまま継続 被保険者の健康増進のため、特定健康診査・特定保健指導を実施します。						
介護予防事業	健康増進課	49,261 (49,261)	指標名	健康長寿塾参加者数	妥当性	A
			単年度計画値	6,000.0	有効性	A
			単年度実績値	1,924.0		
			単年度達成率	32.1%	効率性	B
			最終目標に対する達成率	21.4%		
事務事業の方向性 A：拡大 新型コロナウイルス感染症の状況により、介護予防事業の参加者数を制限する必要がありますが、事業の完全自粛は高齢者が受ける影響が大きいため、可能な範囲で事業を継続していく必要があります。						
感染症予防事業	健康増進課	410,131 (410,131)	指標名	麻しん風しん（MR）第1期接種率	妥当性	A
			単年度計画値	100.0	有効性	A
			単年度実績値	100.7		
			単年度達成率	100.7%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	100.7%		
事務事業の方向性 B：現状のまま継続 予防接種法に従い、必要な予防接種を実施していきます。						

評価結果の公表

施策名 地域資源を生かした健康づくりの推進

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
			指標名	接種率	妥当性	A
新型コロナウイルスワクチン接種事業	健康増進課	32,800 (32,800)	指標名	接種率	妥当性	A
			単年度計画値	70.0	有効性	B
			単年度実績値	0.0	効率性	A
			単年度達成率	-		
			最終目標に対する達成率	-		
事務事業の方向性						
A：拡大						
ワクチン接種を実施していく。						

6 施策の事後評価

現状認識 (施策をとりまく状況の変化や課題等)	新型コロナウイルス感染症拡大により、施設の利用停止や事業の中止など、健診や健康づくり活動に積極的に取り組めない状況がありました。また、集団で活動する機会の減少により、個人の健康づくり活動意欲の低減が懸念されることから、継続するための活動内容の充実を図る必要があります。
施策の推進に向けた今後の方針	ワクチン接種の推進や感染対策を行い、新しい生活様式を取り入れた事業の実施を行う必要があります。新型コロナウイルス感染症収束後の健康づくり活動に向けて、意欲的に取り組めるように計画的に進めていきます。

評価結果の公表

施策名 健やかな暮らしを支える連携の強化

1 第6次大府市総合計画における位置づけ、担当課

健康領域	ひとの健康
政策	こころもからだも元気に過ごせるまち
施策	健やかな暮らしを支える連携の強化
主管部局	健康都市推進局
主管課	健康都市推進課
関係課	健康増進課、高齢障がい支援課

2 施策が目指す大府市の姿

内容	保健・医療・福祉に関わる連携が進み、全ての市民が最期まで「健康都市おおぶ」で暮らしたいと思えるまちになっています。
----	---

3 令和2年度 施策フルコスト（単位：千円）

歳出（使ったお金）	R 2決算	R 3予算
(1)人件費	38,593	0
(2)事業費	943,278	32,347
フルコスト（歳出合計）	983,006	32,347
歳入（お金の出所）	R 2決算	R 3予算
(1)国庫支出金（国から出たお金）	10,000	10,000
(2)県支出金（愛知県から出たお金）	1,500	28
(3)市債（市の借金）	0	0
(4)その他特定財源（使い途が決まっているお金）	9,676	5,496
(5)一般財源（市税収入など）	922,102	16,823
歳入合計	943,278	32,347

4 「ひとの健康」指標（施策評価指標）

有効性指標 1

指標名	「かかりつけ医を決めている」市民の割合										単位	%	
											現状値	71.2	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	72.0	72.0	73.0	73.0	74.0	74.0	74.5	74.5	75.0	75.0	75.0		
実績値	64.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	市民意識調査で「かかりつけ医を決めている」と答えた市民の割合												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	計画値より実績値が低くなっており、生活習慣病などの重症化予防や健康管理など若い世代からかかりつけ医をもつことを周知啓発していく必要があります。												

有効性指標 2

指標名	「幸福感のある」高齢者の割合										単位	%	
											現状値	54.6	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	55.0	55.5	56.0	56.5	57.0	57.5	58.0	58.5	59.0	59.5	60.0		
実績値	54.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	健康とくらしの調査（知多北部広域連合の日常生活圏域ニーズ調査）で「現在の程度幸せか（10段階）」という設問に対し「8点以上」と答えた高齢者の割合												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	この調査は、日本老年学的評価研究機構のJAGESプロジェクトにより、3年に1回調査（次回は令和4年度の子定）計画値より実績値が低くなっており、次回の調査までに調査項目として設定されている健康診査数値、サロン参加者数、要介護認定者数などが割合の上昇につながっていくよう、事業を推進していく必要があります。												

評価結果の公表

施策名 健やかな暮らしを支える連携の強化

有効性指標 3

指標名	在宅（自宅及び老人ホーム）の死亡率										単位	%
											現状値	26.1
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	27.0	28.0	29.0	30.0	31.0	32.0	32.5	33.0	33.5	34.0	35.0	
実績値	24.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	愛知県衛生年報で年間の死亡件数における死亡場所が「自宅」又は「老人ホーム」の者の割合											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	計画値より実績値が低くなっており、今後は、在宅医療に関わる医師、介護事業者を始めとした多職種が連携して推進していく必要があります。											

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
在宅医療介護連携推進事業	高齢障がい支援課	12,226 (12,226)	指標名	在宅療養支援診療所数（在宅医療実施医療機関を含む）	妥当性	A
			単年度計画値	23.0	有効性	A
			単年度実績値	27.0		
			単年度達成率	117.4%		
			最終目標に対する達成率	96.4%	効率性	A
事務事業の方向性						
A：拡大 将来の需要に対応できるよう、在宅医療介護連携の仕組みを構築することが求められます。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
介護保険事業	高齢障がい支援課	927,827 (927,827)	指標名	要介護・要支援認定者数	妥当性	A
			単年度計画値	3,164.0	有効性	A
			単年度実績値	3,364.0		
			単年度達成率	106.3%		
			最終目標に対する達成率	96.1%	効率性	A
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 国全体の方針がサービスの充実から地域での包括的支援にシフトする方向にあります。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
健康都市推進事業	健康都市推進課	42,953 (42,953)	指標名	「健康都市おおぶ」推進会議回数	妥当性	B
			単年度計画値	2.0	有効性	A
			単年度実績値	2.0		
			単年度達成率	100.0%		
			最終目標に対する達成率	100.0%	効率性	A
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 「健康都市おおぶ」みんなの健康づくり推進プラン」に基づき、健康都市の推進に必要な施策を検討し、市民、事業者、地域組織、関係団体と連携することで効率性や効果を高めながら事業を実施していきます。						

評価結果の公表

施策名 健やかな暮らしを支える連携の強化

6 施策の事後評価

現状認識 (施策を とりまく状況 の変化や課題 等)	在宅療養を支援する医療機関は増加しており、地域医療を支える環境は向上しています。また、要介護・要支援認定者数は現状を維持しています。 新型コロナウイルス感染症感染拡大予防のため、「健康都市おおぶ」推進会議は書面開催としました。
施策の推進 に向けた 今後の方針	在宅医療など地域医療環境の充実を図るため、多職種間で顔の見える関係づくりや具体的なケースで連携を図る必要があります。

評価結果の公表

施策名 安心を支える医療制度の充実

1 第6次大府市総合計画における位置づけ、担当課

健康領域	ひとの健康
政策	こころもからだも元気に過ごせるまち
施策	安心を支える医療制度の充実
主管部局	健康文化部
主管課	保険医療課
関係課	保険医療課

2 施策が目指す大府市の姿

内容	国の医療制度改正への的確な対応や医療費の適正化などを進めることで、市民が健康上の不安がなく、病気になっても安心して医療を受けることができ、いきいきと暮らせるまちになっています。
----	--

3 令和2年度 施策フルコスト（単位：千円）

歳出（使ったお金）	R 2決算	R 3予算
(1)人件費	24,852	0
(2)事業費	8,277,923	8,688,819
フルコスト（歳出合計）	8,317,758	8,688,819
歳入（お金の出所）	R 2決算	R 3予算
(1)国庫支出金（国から出たお金）	0	0
(2)県支出金（愛知県から出たお金）	4,246,812	4,533,726
(3)市債（市の借金）	0	0
(4)その他特定財源（使い途が決まっているお金）	1,219,794	1,315,880
(5)一般財源（市税収入など）	2,811,317	2,839,213
歳入合計	8,277,923	8,688,819

4 「ひとの健康」指標（施策評価指標）

有効性指標 1

指標名	1人当たり年間医療費										単位	円
											現状値	346,210.0
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
実績値	357,336.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	国民健康保険事業状況報告書（事業年報）における療養給付の費用額 ※「愛知県平均以下」を目標としているため、毎年度、愛知県平均が算出された後、単年度の計画値と実績値を併せて入力する。											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	1人当たり年間医療費は増加傾向が続いてきましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により増加幅は減少しました。											

有効性指標 2

指標名	特定保健指導対象者の減少率（国保：平成20年度比）										単位	%
											現状値	25.5
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	26.0	26.5	27.0	27.5	28.0	28.5	29.0	29.0	29.5	29.5	30.0	
実績値	24.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	$(H20年度特定保健指導対象者推定数 - 該当年度特定保健指導対象者推定数) / H20年度特定保健指導対象者推定数 \times 100$											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	特定保健指導対象者の減少率は増加傾向を続けてきましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により減少しました。											

評価結果の公表

施策名 安心を支える医療制度の充実

有効性指標 3

指標名											単位	
											現状値	0.0
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
実績値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価												

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
障がい者医療費支給事業	保険医療課	216,696 (216,696)	指標名	年間医療費助成額	妥当性	A
			単年度計画値	216,691.0	有効性	A
			単年度実績値	207,138.0		
			単年度達成率	95.6%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	-		
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 障がい者医療受給者が安心して生活できるようにするため、必要な事業です。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
後期高齢者福祉医療費給付事業	保険医療課	125,623 (125,623)	指標名	年間医療費助成額	妥当性	A
			単年度計画値	130,517.0	有効性	A
			単年度実績値	118,703.0		
			単年度達成率	90.9%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	-		
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 後期高齢者福祉医療受給者が安心して生活できるようにするため、必要な事業です。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
県広域連合負担金事業	保険医療課	670,828 (670,828)	指標名	広域連合負担金	妥当性	A
			単年度計画値	671,147.0	有効性	A
			単年度実績値	670,098.0		
			単年度達成率	99.8%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	-		
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 高齢者の医療の確保に関する法律及び愛知県後期高齢者医療広域連合規約に定められているため、市が実施すべき事業です。						

評価結果の公表

施策名 安心を支える医療制度の充実

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
子ども医療費 支給事業	保険医療課	481,059 (481,059)	指標名	年間医療費助成額	妥当性	A
			単年度計画値	582,399.0	有効性	A
			単年度実績値	466,102.0		
			単年度達成率	80.0%		
			最終目標に 対する達成率	-	効率性	A
事務事業の方向性						
A：拡大 子ども医療受給者が安心して生活できるようにするため、必要な事業です。						
母子家庭等医療費 支給事業	保険医療課	49,172 (49,172)	指標名	年間医療費助成額	妥当性	A
			単年度計画値	48,277.0	有効性	A
			単年度実績値	42,202.0		
			単年度達成率	87.4%		
			最終目標に 対する達成率	-	効率性	A
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 母子家庭等医療受給者が安心して生活できるようにするため、必要な事業です。						
一般被保険者 療養給付費給 付事業	保険医療課	4,010,270 (4,010,270)	指標名	療養給付費額	妥当性	A
			単年度計画値	4,196.0	有効性	A
			単年度実績値	4,004.0		
			単年度達成率	95.4%		
			最終目標に 対する達成率	-	効率性	A
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 引き続き適正な医療給付を実施します。						
一般被保険者 医療給付費分 納付金負担事 業	保険医療課	1,541,149 (1,541,149)	指標名	医療給付費分納付金	妥当性	A
			単年度計画値	1,539.0	有効性	A
			単年度実績値	1,540.0		
			単年度達成率	100.1%		
			最終目標に 対する達成率	-	効率性	A
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 愛知県への医療給付費の適正な納付を行います。						

評価結果の公表

施策名 安心を支える医療制度の充実

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
			指標名			
後期高齢者医療広域連合納付金事業	保険医療課	1,222,961 (1,222,961)	後期高齢者医療広域連合納付金		妥当性	A
			単年度計画値	1,304.0	有効性	A
			単年度実績値	1,220.0		
			単年度達成率	93.6%		
			最終目標に対する達成率	-	効率性	A
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続						
高齢者の医療の確保に関する法律に定められているため、市が実施すべき事業です。						

6 施策の事後評価

現状認識 (施策をとりまく状況の変化や課題等)	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、特定健康診査の受診率の減少等、国民健康保険事業においても様々な面で影響が拡大しています。
施策の推進に向けた今後の方針	感染状況を踏まえながら、今後の施策を展開していく必要があります。

評価結果の公表

施策名 文化芸術・学習活動を通じた健やかな心の醸成

1 第6次大府市総合計画における位置づけ、担当課

健康領域	ひとの健康
政策	こころもからだも元気に過ごせるまち
施策	文化芸術・学習活動を通じた健やかな心の醸成
主管部局	健康文化部
主管課	文化振興課
関係課	文化振興課

2 施策が目指す大府市の姿

内容	文化芸術・学習活動を通して、人と人とのつながりを強め、豊かな心を育むとともに、全ての市民が生涯にわたって心身ともに健やかに過ごすことができるまちになっています。
----	--

3 令和2年度 施策フルコスト（単位：千円）

歳出（使ったお金）	R 2決算	R 3予算
(1)人件費	50,237	0
(2)事業費	669,445	682,280
フルコスト（歳出合計）	908,922	682,280
歳入（お金の出所）	R 2決算	R 3予算
(1)国庫支出金（国から出たお金）	469	0
(2)県支出金（愛知県から出たお金）	0	0
(3)市債（市の借金）	0	0
(4)その他特定財源（使い途が決まっているお金）	49,737	49,988
(5)一般財源（市税収入など）	619,239	632,292
歳入合計	669,445	682,280

4 「ひとの健康」指標（施策評価指標）

有効性指標 1

指標名	「文化芸術活動の環境整備・支援に満足している」市民の割合										単位	%	
											現状値	43.0	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	44.0	44.0	45.0	45.0	46.0	46.0	47.0	47.0	48.0	48.0	50.0		
実績値	46.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	市民意識調査の「文化芸術活動の環境整備・支援」に対する満足度で「満足」又は「おおむね満足」と答えた市民の割合												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	様々な文化事業の提供や施設利用サービスの向上により、文化芸術活動に満足している市民が増加しています。												

有効性指標 2

指標名	不読率										単位	%	
											現状値	54.8	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	54.5	54.5	54.0	54.0	53.0	53.0	52.0	52.0	51.0	51.0	50.0		
実績値	58.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	市民意識調査で「1か月以内に1冊も本を読まなかった」と答えた市民の割合												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	ライフスタイルの変化により、余暇を楽しむ選択肢が増えたことにより本を読む機会が減少しています。												

評価結果の公表

施策名 文化芸術・学習活動を通じた健やかな心の醸成

有効性指標 3

指標名	「郷土の歴史・伝統に愛着をもっている」市民の割合										単位	%
											現状値	47.9
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	50.0	50.0	51.0	51.0	52.0	52.0	53.0	53.0	54.0	54.0	55.0	
実績値	42.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	市民意識調査で「郷土の歴史・伝統に愛着をもっている」ことに「愛着をもっている」又は「どちらかといえば愛着をもっている」と答えた市民の割合											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、外出自粛や祭り等の開催中止により、伝統文化に触れる機会が減少しています。											

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
文化芸術支援事業	文化振興課	25,927 (25,927)	指標名	文化活動補助対象事業	妥当性	B
			単年度計画値	16.0	有効性	B
			単年度実績値	16.0		
			単年度達成率	100.0%		
			最終目標に対する達成率	80.0%	効率性	B
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 今後も市民が文化、学習活動に取り組むための様々な支援や事業を開催し、市民と一緒に文化活動の振興を図ります。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
愛三文化会館管理事業	文化振興課	311,257 (311,257)	指標名	文化施設の利用率	妥当性	A
			単年度計画値	85.0	有効性	B
			単年度実績値	69.0		
			単年度達成率	81.2%		
			最終目標に対する達成率	81.2%	効率性	A
事務事業の方向性						
A：拡大 今後も指定管理者による施設管理や事業開催を行い、施設利用者へのサービス向上を図ります。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
おおぶ文化交流の杜管理事業	文化振興課	524,094 (524,094)	指標名	文化・学習、市民交流の評価	妥当性	A
			単年度計画値	4.0	有効性	A
			単年度実績値	4.0		
			単年度達成率	100.0%		
			最終目標に対する達成率	-	効率性	A
事務事業の方向性						
A：拡大 今後も指定管理者による施設管理や事業開催を行い、施設利用者へのサービス向上を図ります。						

評価結果の公表

施策名 文化芸術・学習活動を通じた健やかな心の醸成

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
			指標名	文化財補助件数	妥当性	B
文化財等保存 伝承活用事業	文化振興課	47,644 (47,644)	単年度計画値	5.0	有効性	A
			単年度実績値	5.0		
			単年度達成率	100.0%		
			最終目標に 対する達成率	100.0%	効率性	B
			事務事業の方向性			
B：現状のまま継続 感染症の状況を確認しながら、新しい生活様式などの感染症対策を施し、可能な範囲で事業を推進していきます。						

6 施策の事後評価

現状認識 (施策を とりまく状況 の変化や課題 等)	愛三文化会館については、施設の老朽化に伴う予防保全的な修繕が増加しています。おおぶ文化交流の杜については、現在のサービスに加え、新たな市民サービスの提供が望まれています。
施策の推進 に向けた 今後の方針	計画的な施設管理や、新たな市民サービスの提供機会を増やします。

評価結果の公表

施策名 豊かで健やかなスポーツライフの創出

1 第6次大府市総合計画における位置づけ、担当課

健康領域	ひとの健康
政策	こころもからだも元気に過ごせるまち
施策	豊かで健やかなスポーツライフの創出
主管部局	健康文化部
主管課	スポーツ推進課
関係課	スポーツ推進課

2 施策が目指す大府市の姿

内容	子どもから高齢者、障がい者、外国人など、誰もが気軽にスポーツに取り組むことができおり、市民、地域、行政で連携しながらそれぞれのライフスタイルに応じた活動が推進されています。また、スポーツを通して健康づくりや地域とのつながりづくりができるまちになっています。
----	--

3 令和2年度 施策フルコスト（単位：千円）

歳出（使ったお金）	R 2決算	R 3予算
(1)人件費	29,020	0
(2)事業費	216,172	214,896
フルコスト（歳出合計）	258,328	214,896
歳入（お金の出所）	R 2決算	R 3予算
(1)国庫支出金（国から出たお金）	0	0
(2)県支出金（愛知県から出たお金）	0	0
(3)市債（市の借金）	0	0
(4)その他特定財源（使い途が決まっているお金）	36,176	27,608
(5)一般財源（市税収入など）	179,996	187,288
歳入合計	216,172	214,896

4 「ひとの健康」指標（施策評価指標）

有効性指標 1

指標名	「週1回以上運動やスポーツに取り組んでいる」市民の割合										単位	%	
											現状値	45.3	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	50.0	50.0	54.0	54.0	58.0	58.0	61.0	61.0	63.0	63.0	65.0		
実績値	44.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	市民意識調査で「週1回以上運動やスポーツに取り組むこと」に「積極的に」又は「ある程度」取り組んでいると答えた市民の割合												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	実績値が計画値を下回りました。新型コロナウイルス感染症の影響で外出する機会が減少したほか、スポーツ施設の利用制限を実施したことが要因であると考えられます。												

有効性指標 2

指標名	スポーツ競技団体の登録者数										単位	人	
											現状値	7,182.0	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	7,700.0	8,000.0	8,200.0	8,400.0	8,700.0	8,900.0	9,200.0	9,400.0	9,700.0	9,900.0	10,000.0		
実績値	4,944.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	基準日（3月31日）時点の大府市スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブOBUエニスポ、大府市とうちゃんソフトボール連絡協議会に所属している会員数の合計												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	実績値が計画値を下回りました。新型コロナウイルス感染症の影響でスポーツ競技団体が活動する機会が減少したことが要因であると考えられます。												

評価結果の公表

施策名 豊かで健やかなスポーツライフの創出

有効性指標 3

指標名	スポーツ施設の利用者数										単位	人
											現状値	573,206.0
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	600,000.0	605,000.0	610,000.0	615,000.0	620,000.0	625,000.0	630,000.0	635,000.0	640,000.0	645,000.0	700,000.0	
実績値	285,211.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	基準日（3月31日）時点のスポーツ推進課が所管する市内のスポーツ施設（社会体育施設＋学校開放施設）の年間利用者数の合計											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	実績値が計画値を下回りました。 新型コロナウイルス感染症の影響で施設の閉鎖及び利用人数の制限を実施したことが主な要因です。											

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
生涯スポーツの推進事業	スポーツ推進課	11,926 (11,926)	指標名	レクリエーションスポーツ大会参加者数	妥当性	B
			単年度計画値	3,100.0	有効性	B
			単年度実績値	491.0		
			単年度達成率	15.8%		
			最終目標に対する達成率	12.3%	効率性	B
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 「大府市スポーツ推進計画2030」に基づき、体力や年齢、性別、障がいの有無等に応じてスポーツに気軽に参加することができるよう、大府市スポーツ推進委員会、大府市総合型地域スポーツクラブOBUエニスポ等と連携しながら効率的に事業を推進していきます。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
競技スポーツの推進事業	スポーツ推進課	26,293 (26,293)	指標名	スポーツ大会開催数	妥当性	B
			単年度計画値	110.0	有効性	B
			単年度実績値	47.0		
			単年度達成率	42.7%		
			最終目標に対する達成率	42.7%	効率性	A
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 「大府市スポーツ推進計画2030」に基づき、高いレベルで活躍する選手の育成や指導者の養成ができるよう、大府市スポーツ協会等と連携しながら効率的に事業を推進していきます。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
スポーツ施設整備事業	スポーツ推進課	80,753 (80,753)	指標名	スポーツ施設整備数	妥当性	A
			単年度計画値	0.0	有効性	A
			単年度実績値	0.0		
			単年度達成率	-		
			最終目標に対する達成率	-	効率性	A
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 「大府市スポーツ推進計画2030」に基づき、誰もが安全で安心して施設を利用することができるよう、指定管理者等と連携しながら効率的に施設の改修を実施していきます。						

評価結果の公表

施策名 豊かで健やかなスポーツライフの創出

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
			指標名	スポーツ施設数	妥当性	A
スポーツ施設 運用事業	スポーツ推進 課	139,356 (139,356)	指標名	スポーツ施設数	妥当性	A
			単年度計画値	30.0	有効性	B
			単年度実績値	29.0		
			単年度達成率	96.7%		
			最終目標に 対する達成率	87.9%	効率性	A
事務事業の方向性 B：現状のまま継続 「大府市スポーツ推進計画2030」に基づき、より多くの方が施設を利用することができるよう、指定管理者等と連携しながら効率的な施設の運用について検討していきます。						

6 施策の事後評価

現状認識 (施策を とりまく状況 の変化や課題 等)	新型コロナウイルス感染症の影響で施設の利用制限を実施したほか、不要不急の外出や大人数での活動の自粛が呼び掛けられたため、スポーツをする機会が減少しました。
施策の推進 に向けた 今後の方針	スポーツをする際の感染症対策の徹底を促すほか、自宅で一人でも楽しむことができるスポーツの推進を検討します。